仮定法 基礎

空欄に適する語句を選びなさい。

• It's time that you [] to bed, John.

(学習院大)

- ① are going [校正用: false]
- ② have gone [校正用: false]
- ③ went [校正用: true]
- ④ will go [校正用: false]

解答:③

【設問の解説】

「もう寝る時間よ、ジョン。」 「もう〜する時間〔ころ〕だ」は〈It is time +仮定法過去〉で表す。仮定法過去を使うの で、It is timeのあとの動詞は過去形にするの がポイント。

It is time S did ~「もうSは~する時間〔ころ〕だ↓

また、timeの前にaboutやhighをつけて表現することもある。

It is <u>about</u> time S did~「もう **そろそろ** Sは~ する時間〔ころ〕だ」

It is <u>high</u> time S did~「もう **とっくに** Sは~する時間〔ころ〕だ」

空欄に適する語句を選びなさい。

If you had practiced your talk a few more times it
better.

(慶大)

- ① had been [校正用: false]
- 。② was [校正用: false]
- ③ would be [校正用: false]
- ④ would have been [校正用: true]

解答: ④

【設問の解説】

「もう少し話し方を練習していたら、もっと よかっただろうに。」

if節で使われている過去完了had practicedに注

- 目。 過去の現実に反する仮定 を表すとき
- は、仮定法過去完了「もし~だったら、...

しただろう(に)」を使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形+完了形〉で表すのがポイント。

If S had done \sim , S' would [could / might / should] have done

空欄に適する語句を選びなさい。

 Susan is going to turn down John's offer! I would not do that if I [] her.

(摂南大)

- ① were [校正用: true]
- ② had been [校正用: false]
- 。 ③ would be [校正用: false]
- ④ would have been [校正用: false]

解答:①

【設問の解説】

「スーザンはジョンの申し出を断るつもりだ。もし私が彼女なら、そんなことはしないのに。」

主節で使われているwould not doに注目。 現在の現実に反する仮定 や これからも実現しそうにない仮定 を表すときに使う。if節の動詞を過去形で、主節の動詞を〈助動詞の過去形・動詞の原形〉で表すのがポイント。

If S did ~, S' would [could / might / should] do

... .

= S' would [could / might / should] do ... if S did \sim .

本問のように、if節でbe動詞を使うときは、 主語にかかわらずbe動詞はふつうwereを使 う。なお、本問の主節は、notがついた否定 文「~しないだろう(に)」になっている。 turn down 「~を断る〔辞退する〕|

空欄に適する語句を選びなさい。

• If I [] the money, I could have bought the latest smartphone.

(日本大)

- ① had had [校正用: true]
- ② had to [校正用: false]
- ③ have been [校正用: false]
- ④ will have [校正用: false]

解答:①

【設問の解説】

「もしお金があったら、最新のスマートフォンを買えたのに。」

主節で使われているcould have boughtに注

- 目。 過去の現実に反する仮定 を表すとき
- は、**仮定法過去完了**「もし〜だったら、...

しただろう(に)」を使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形+完了形〉で表すのがポイント。

If S had done \sim , S' would [could / might / should] have done

the latest 「最新の」

空欄に適する語句を選びなさい。

• [], I would have passed the exam.

(藤女子大)

- ① If I had worked harder [校正用: true]
- ② If I'm working hard [校正用: false]
- ③ If I work hard [校正用: false]
- ④ If I worked little [校正用: false]

解答:①

【設問の解説】

「もっと熱心に取り組んでいたら、私は試験 に合格していただろうに。」

空欄のあとのwould have passedに注目。 過去の現実に反する仮定 を表すときは、 仮定法 過去完了 「もし~だったら、…しただろう(に)」を使う。if節の動詞を過去完了で、主節の動詞を〈助動詞の過去形+完了形〉で表すのがポイント。

If S had done \sim , S' would [could / might / should] have done

空欄に適する語句を選びなさい。

• I [] you could stay with me forever.

(藤女子大)

- ① like [校正用: false]
- ② request [校正用: false]
- ③ want [校正用: false]
- ④ wish [校正用: true]

解答: ④

【設問の解説】

「あなたが私とずっと一緒にいられたらなぁ。」

空欄のあとのcould stayに注目。 現在の現実 に反する願望 を表すときは〈S wish (that) + 仮定法過去〉で表す。仮定法過去を使うの で、S wish (that) のあとの動詞は過去形のほ かに〈助動詞の過去形+動詞の原形〉を使う こともある。

- S wish (that) S' did \sim
- S wish (that) S' could [would] do \sim
- ①③は、ふつう目的語にthat節をとらない。
- ② requestのような **提案 ・ 要求** を表す動詞の that節内では、ふつう(should) doの形をとる。

空欄に適する語句を選びなさい。

• I wish I [] yesterday's TV program on DVD.

(佛教大)

- ① was recording [校正用: false]
- ② have recorded [校正用: false]
- ③ can record [校正用: false]
- ④ had recorded [校正用: true]

解答: ④

【設問の解説】

「昨日のテレビ番組をDVDに録画してたらよかったのに。|

yesterday's TV programに注目。 過去の現実に 反する願望 を表すときは〈S wish (that) + 仮 定法過去完了〉で表す。仮定法過去完了を使 うので、S wish (that) のあとの動詞は 過去完 **ア**にするのがポイント。

S wish (that) S' had done $\sim \lceil$ (あのとき) S'が \sim すれば〔だったら〕いいのに(とSは思う) \mid

空欄に適する語句を選びなさい。

• If I had not lost my file, I [] the job on time.

(立命館大)

- ① had finished [校正用: false]
- ② have finished [校正用: false]
- ③ finished [校正用: false]
- ④ would have finished [校正用: true]

解答: ④

【設問の解説】

「もしファイルをなくしていなかったら、時間どおりに仕事を終えていたのに。」 if節で使われているhad not lostに注目。 **過去** の現実に反する仮定を表すときは、仮定法 過去完了「もし〜だったら、…しただろう (に)」を使う。if節の動詞を過去完了で、 主節の動詞を〈助動詞の過去形+完了形〉で 表すのがポイント。

If S had done \sim , S' would [could / might / should] have done

ここに参考書リンクが入ります